中災防発教育第135号
令和4年10月1日

中災防正会員
代表者　各位

中央労働災害防止協会
理事長　竹越　徹
（公印省略）

第82回（令和5年度）全国産業安全衛生大会in名古屋
研究発表応募勧奨のお願いについて

拝啓　平素から、当協会の事業運営につきまして多大なるご理解、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、来年度の全国産業安全衛生大会は、令和5年9月27日（水）～29日（金）までの3日間、愛知県名古屋市において開催いたします。

本大会におきまして、多くの有意義な発表をいただき、労働災害の撲滅や企業の安全衛生水準の向上に繋げていきたいと考えております。

つきましては、「第82回（令和5年度）全国産業安全衛生大会開催のお知らせについて（研究発表募集要項）」を下記1のとおり送付いたしますので、ご多用の折大変恐縮ですが、関係事業場等に配布していただくとともに、貴団体の機関誌やホームページ等で本大会の周知及び研究発表応募勧奨方のお力添えを賜りたくお願い申し上げます（下記2のURLに同封のお知らせのPDFデータを掲載いたしますので、データのご利用およびリンク先としてご活用いただければ幸いです）。

なお、研究発表の応募方法は、下記2のURLに掲載の応募フォームからとなります。貴団体よりご推薦いただく場合は応募事業場の連絡ご担当者様とご調整いただき、連絡ご担当者様に推薦団体に関する項目について、ご記入をご依頼くださいますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

最後に、本年度の全国産業安全衛生大会 in 福岡の参加勧奨につきましても、多大なるご協力をいただいておりますこと重ねてお礼申し上げます。

敬具

記

1　送付物および送付数
- 送付状　　1部
- 第82回（令和5年度）全国産業安全衛生大会開催のお知らせについて
（研究発表募集要項）　10部

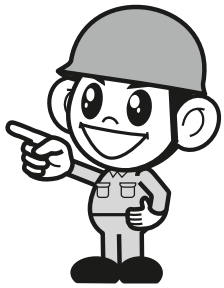
2　第82回（令和5年度）全国産業安全衛生大会URL（※このページは10月上旬にオープン予定です）
http://www.jisha.or.jp/taikai/2023/index.html

【問合せ先】
中央労働災害防止協会教育ゼロ災推進部ｲﾍﾞﾝﾄ事業課
TEL　03-3452-6402　E-mail taikai@jisha.or.jp

第82回（令和5年度）全国産業安全衛生大会
開催のお知らせについて

第82回全国産業安全衛生大会は愛知県名古屋市で開催いたします。皆様のご参加をお待ち申し上げます。また、研究（事例）発表も募集いたしますので、ふるってご応募くださいますようご案内申し上げます。

開催期間	令和5年9月27日（水）～ 9月29日（金）
開催地	愛知県
会場	ポートメッセなごや 27日　総合集会 ／ 28日、29日　分科会
主催	中央労働災害防止協会
協力	公益社団法人　愛知労働基準協会
同時開催	緑十字展2023 〔会場　ポートメッセなごや〕



研究（事例）発表の募集

以下の点にご留意いただき、ご応募くださいますようお願いいたします。詳細は、研究発表募集要項をご覧ください。

■応募方法

以下のURLに掲載の「第82回（令和5年度）全国産業安全衛生大会　研究発表　応募フォーム」からご応募ください（10月上旬掲載予定）。

URL：https://www.jisha.or.jp/taikai/2023/

■締切日

令和5年1月6日（金）予定

■発表方法

現地会場での演台から、パワーポイント等の資料を用いて、口頭による研究発表を行っていただきます（15分間の予定）。なお、本大会では、ポスター発表を募集いたしません。

■その他

場合によっては、オンラインを活用した発表をお願いすることがございます。
なお、その場合には、ビデオ収録等をお願いいたしますので、あらかじめご了承ください。

● 研究発表募集要項 ●

1. 応募要件

次の要件を満たす研究（事例）発表とします。

（1）事業場・大学および研究機関等で行われる安全衛生についての研究成果や改善事例等で、企業等の安全衛生水準の向上に寄与し、広く全国に紹介することが適当と思われるもの。

（2）安全衛生活動の成果や改善結果に限らず、そのプロセスにおいて工夫した点、苦労や失敗、振り返り、今後の展望等を含めた発表であること。

（3）過去の全国産業安全衛生大会や、中災防の定期刊行物等で、同一の発表がなされていないもの。

（4）所属長等から応募の承認を受けたもの。

2. 応募区分

該当する番号を応募フォームの応募区分欄より選択してください。また、関連するテーマを応募フォームの「関連するテーマ」から複数選択いただくことも可能です。審査の際に参考にさせていただきます。

なお、同一事業場から、同一応募区分での複数応募をすることはできません。

※以下の●印は、発表例を示しており、応募区分（1）～（12）は、分科会を示すものではありません。

（1）労働安全衛生マネジメントシステム／リスクアセスメント

●労働安全衛生マネジメントシステムの導入・定着の事例（OSHMS指針、JISHA方式、ISO（JIS Q 45001など））

●企業におけるリスクアセスメント事例

●日常的な安全衛生活動※を取り入れたOSHMS指針およびJIS Q 45100に基づく活動の事例など

※小集団活動、KY活動、ヒヤリ・ハット活動、5S活動、改善 提案制度や健康確保の取り組みなど

（2）ダイバーシティー&インクルージョン／ESG、SDGsへの取り組み

（就業構造の変化および働き方の多様化、持続的な安全・安心な職場環境づくり　など）

●高年齢労働者・非正規雇用労働者・外国人労働者・障害者である労働者に配慮した職場づくり（エイジフレンドリー　など）

●ウィズコロナなどの働き方に関する事例（テレワーク　など）

●事業場における治療や介護と職業生活の両立支援に関する事例　など

●個人事業者等に対する安全衛生への対応（飲食物等のデリバリーサービスにおける交通事故防止　など）

（3）最新技術を活用した安全衛生活動

●AI、IoT、DX、VR技術など新技術を活用した安全衛生活動の事例

●人との協調作業を可能とする産業用ロボットを活用した安全衛生活動の事例

●スマート保安の事例

（4）安全管理活動

●安全管理、職場安全活動の推進事例（職場巡視、安全衛生委員会の活性化　など）

●作業方法、作業手順等の改善事例

●墜落・転落災害防止対策（フルハーネス型墜落制止用器具の使用　など）に関する事例

●コロナ禍を経て気づいた安全管理活動の重要性

●荷主側の荷役作業安全対策に関する事例

●企業活動のグローバル化にともなう安全衛生活動（国内事業場で働く外国人や海外関連事業場における現地スタッフ等の安全衛生活動・教育の事例　など）

●職場の防災・自然災害対策および事業継続計画（BCP）事例など

（5）機械・設備等の安全

●機械・設備に関するリスクアセスメント（機械包括安全指針に沿った保護方策実施の取り組み）や残留リスク対策の事例

●機械・設備の安全対策の事例　など

（6）安全衛生教育

●RSTトレーナーによる職長教育、雇入れ時教育等の事例

●動画を活用した安全衛生教育の事例

●安全衛生教育、安全（危険）体感教育の事例（安全衛生スタッフの育成、派遣・請負の安全衛生教育　など）

（7）ゼロ災運動

●ゼロ災害全員参加運動（ゼロ災運動）を推進する事例

●危険予知活動（KYT）や指差し呼称を日々の作業の中で展開している事例

●時代に応じたISO等システムとして継続的にゼロ災運動を展開している事例

●医療機関、社会福祉施設、小売業、飲食店等の第三次産業の事業場でゼロ災運動を展開している事例

●協力会社も含めて一体的にゼロ災運動を展開している事例

（8）交通安全

●運行前・運行中・運行後および通勤時の安全運転対策

●構内・構外の交通事故防止対策事例（ドライブレコーダーを活用した事例　など）

●事業所における酒気帯び運転の防止対策事例　など

（9）労働衛生管理活動

●職場の作業環境管理、作業管理および健康管理に関する事例

●衛生管理者の活動事例

●受動喫煙防止、熱中症予防、騒音防止、パンデミックなどに関する対策事例

●PC、タブレット等の情報機器作業による健康障害の対策事例

（10）化学物質管理活動

●化学物質の自律的な管理に関する事例

●レスポンシブルケア（RC）　など

（11）メンタルヘルス／健康づくり／健康経営

●職場のメンタルヘルス対策に関する事例

●職場の健康づくり活動（THPおよび生活習慣病対策など）に対する事例　など

●健康管理上の課題の可視化、データ活用によるパーソナルケアの推進

●健康寿命延伸と医療費の適正化に向けた取り組み、健康投資と生産性の向上　など

（※「健康経営」は、NPO法人　健康経営研究会の登録商標です。）

（12）第三次産業における安全衛生対策

●安全で安心な店舗・施設づくり、ギグワーカーに対する安全衛生教育

●社会福祉施設における移乗作業における安全対策、介護作業における転倒・腰痛予防対策に関する事例　など

●小売業における安全衛生対策に関する事例（行動災害の予防対策、+safeコンソーシアム　など）

3. 発表方法

現地会場での口頭による研究発表（15分間の予定）にて、パワーポイント等を活用し、演台から発表していただきます。なお、本大会では、ポスター発表を募集いたしません。

4. 応募方法

以下の大会ホームページのURLに掲載の「第82回（令和5年度）全国産業安全衛生大会　研究発表　応募フォーム」からご応募ください。

大会ホームページ　URL：https://www.jisha.or.jp/taikai/2023/

応募フォームに必要事項を記入し、「発表内容（800字程）」には成果や改善結果に限らず、そのプロセスにおいて工夫した点、苦労や失敗、振り返り、今後の展望等をまとめたものをご記入ください。

フォームを送信いただいた後、連絡担当者様あてに受領確認の電子メールを返送します。送信後一日経っても受領確認メールが送られて来ない場合は、運営事務局までお問い合わせください。

5. 締切り

令和5年1月6日（金）予定

6. 審査結果の通知

審査結果（採用・不採用）については、令和5年3月中に通知いたします。なお、審査経緯の照会には応じられませんので、あらかじめご了承ください。

7. その他注意事項

（1）分科会、日時の指定はできませんのでご了承ください。

（2）記入いただいた応募区分（1）～（12）は、分科会を示すものではありません。

（3）原則として、発表者は1名とさせていただきます。発表時間は15分を予定しています。

（4）1名1回のみの発表とさせていただきます。

（5）視聴覚機器等の使用条件は後日発表者へご連絡いたします。

（6）発表者は、発表原稿（3,000字程度）を大会事務局あてに提出していただきます（一部の方には動画の提出をお願いする予定）。なお、発表原稿の記載要領は大会事務局より後日ご連絡いたします。提出いただいた発表原稿は返却いたしません。

（7）発表原稿等に係る著作権は、中災防に帰属するものとし、発表原稿は中災防ホームページ（予定）の「全国産業安全衛生大会研究発表集」に掲載するほか、中災防の安全衛生情報として使用させていただきます。

（8）発表者の旅費等につきましては、発表者等それぞれのご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

（9）ご記入いただいた個人情報につきましては、中災防が責任を持って管理し、研究発表にかかる審査において使用するほか、研究発表決定の場合は、本大会ホームページ等に掲載予定です。

8. 研究発表者のスケジュール（予定）

3月中　　結果通知の受領
5月中旬　研究発表集原稿提出期限
8月上旬　パワーポイント、動画（動画収録をお願いする場合）資料の提出期限

9. 応募に関する問合せ先

中央労働災害防止協会　教育ゼロ災推進部 イベント事業課（大会事務局）
〒108-0014　東京都港区芝5-35-2　　TEL 03-3452-6402　E-mail:kenkyu@jisha.or.jp

● 研究発表応募フォームについて ●

■大会ホームページに掲載の「研究発表　応募フォーム」からご応募ください。
■応募方法に関する詳細は研究発表募集要項を必ずお読みください。

URL ： **https://www.jisha.or.jp/taikai/2023/**

■応募フォームサンプル

ホームページは10月上旬に掲載予定!
皆様からのたくさんのご応募お待ちしております